

# ちよっぴり 暮らし豊かに

## お香づくり



大町市 千国街道「塩の道 ちようじや」で香司・福島和さんによるお香づくり体験講座が開かれました。

お香というと、お仏壇のお線香を思い浮かべる方が多いかと思いますが、ご先祖さまの供養の他にも、自分の好みの香りを選んで調合し、リラクゼーションとしてお香の香りを聞きながらゆったりと時間を過ごす楽しみ方もあります。お香の歴史は古く一五〇〇年前に淡

路島に漂着した香木(沈香)を薪にして燃やしたところ、かぐわしい香りが漂ったことが始まりとされています。香木よりも先に伝来していた仏教の儀礼である供香としての使い方が繋がり、これが日本の香の始まりのようです。淡路島がお香の生産量日本一というのも頷けます。

お香講座では、あらかじめ準備されたお香の基本となる原料、白檀・丁香・桂皮・甘松・拝草香・安息香に、自分好みのお香原料を少量ずつ確認しながら加え、ゆつくりと木製スプーンで混ぜます。香りに神経を集中させ深く吸い込むと、気分も穏やかになってくるようです。

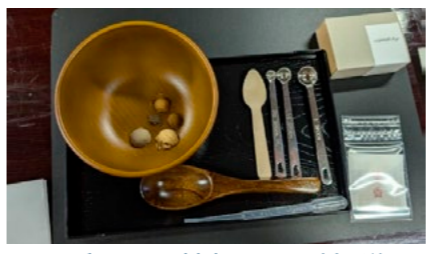
原料は100%自然素材で、樹木や草木の樹皮や樹脂、実や根茎で、それぞれ香りの特徴があり、気持ちを高めたいとき、または鎮めたいとき、不浄な気持ちを洗い流したいときや、薬として利用されるもの、防虫効果のあるもの様々です。



▲どっしりと庄屋の面影を残す「塩の道 ちようじや」

自分好みの白檀を主とし、桂皮(シナモン)と龍腦(龍角散の香り)などを調合しました。香りを言葉で表現するのはとても難しいのですが、涼やかさの中にも香しさを感じる香りになったのではないかと思います。調合後、糊剤と炭粉(着火剤)を混ぜ、水を少量加えて練りあげ、三角や棒状に成形します。その後、風通しの良いところで5日間ほど乾燥させ仕上げます。

「ちようじや」の当主でした。館内は主屋とその奥に国の登録有形文化財である文庫蔵・漬物蔵・塩蔵が続きます。講座の会場となった主屋のお座敷は障子が開け放たれ、格子を抜けて届く風がとても心地よく感じられます。歴史ある建物とお香の香りが相まって、ゆつたりとしたとてもいい時間を過ごすことができました。



▲お香づくりの基本となる原料と道具



▲追加で調合した好みの香料4種



▲乾燥を終えたお香を焚いてみました。清々しい香りです。

「塩の道ちようじや」の歴史ある建物も、この講座をきっかけに知ることができました。

千国街道は糸魚川から松本まで塩や海産物が運ばれた千国街道の宿場町、大町宿として栄え、江戸時代に松本藩から塩問屋を任せられたのが庄屋であった平林家、現

毎日の時間の経過をあまり意識することなく過ごしてしまっているせいか、年末になつて一年がこんなに早く経ってしまつたことに驚きます。心休まる時間が少なくなっている今、香りと煙の揺らぎに気持ちを委ねてみる時間も大切なかもしれません。

「ちようじや」の当主でした。館内は主屋とその奥に国の登録有形文化財である文庫蔵・漬物蔵・塩蔵が続きます。講座の会場となった主屋のお座敷は障子が開け放たれ、格子を抜けて届く風がとても心地よく感じられます。歴史ある建物とお香の香りが相まって、ゆつたりとしたとてもいい時間を過ごすことができました。

### Information

『Aroma 和 華』

aromawaka\_hifumi

## 山共建設会報誌「ゆたか」

発行日：二〇二四年十月二十一日

発行所：山共建設株式会社

発行人：降幡真

印刷所：(株)成進社印刷

電話：〇二六三三三一一三〇一

# ゆたか

vol.18

発行日：2024年10月



## 山共建設株式会社

創業大正10年

〒399-8102  
安曇野市三郷温 3350  
TEL. 0263-77-3161  
https://www.yamakyo-k.com  
✉ kentiku@yamakyo-k.com

### お客様の声

## 安曇野との出会い

### 中垣 和司様・美和子様

(安曇野市穂高有明)

私達は、安曇野「鐘の鳴る丘」に近い林の中に三十余年住まいしております。

此処に落ち着くまでの人生を振り返りますと、度々の転勤により実に15回の転居を繰り返した末に念願の理想郷にたどりつきました。社会人として、神戸を出発点に、よき先輩に支えられ、前半は食品メーカー、20年、後半は総合小売業20年、素晴らしい人々、地域文化との数々の出会いは、かけがえのない宝物となりました。定年を目前に先輩より、信州の定年の無い関係企業に出向打診があり、渡りに船、神戸には自宅建て替えのため完成目前の設計図を残し、急ぎよ穂高有明にて社宅を得ました。此処は、関西、首都圏、中京圏からの移住者も多く、林間にあって都会と融合し、初めて豊かな職住の生活に満足、社宅の近くでは付近の環境に溶け込んだ民家風の住宅や美術館など、都会では見られない佇まいに改めて関心を抱くようになりまし。仕事柄、商品開発やジョイントベンチャーを兼ね、多くの海外都市を訪れる機会に恵まれ、中国では杭州の漆喰の集落の素晴らしさ、ドイツではケルンの堅固でシンプルな古民家の数々などで知りえた、憧れの潜在意識だったのでしょか、これら心魅かれる家屋が降幡建築設計事務所・山共建設施工の家屋や施設であることを知りました。

出向期間も残り少なくなる中、淡路阪神地震によって、

親兄弟、妻の実家夫婦の家屋が倒壊しました。幸い私たちの自宅は災難から外れましたが、時とともに安曇野で暮らしたい欲望を掻き立てられ、転籍の理解も得られ、穂高温泉郷の旅館「山彦」のオーナーから紹介頂いた温泉付きの土地を購入し、降幡先生が古民家再生の先駆者とも知らず降幡建築設計事務所を訪問しました。そこで語られましたお話が、私達の理想とする環境とのマッチング、外観、機能、気密に共感共鳴しました。

半分神戸の生活に心を残したまま、小さな家をお願い致しました。私達の希望として：①一階は全て南向きの洋室 ②カーテンは一切使わず障子にしてほしい ③庭は幼いころから駆け巡った六甲山(神戸)を連想させる人手が入った事を感じさせない「自然林のような庭」とお願いしました。

出来上がった家は、何処までが庭で、何処からが室内か戸惑うような不思議な家でした。庭には雑木と雑草(高山植物)が植えられ、小さな池と流れがあります。穂高町の景観も頂き、数々の専門誌や建築誌にも掲載されました。新しい家での生活は：雪解けとともに控えめな愛らしい山野草が次々と咲き、夏は深い緑の下でお茶を楽しみ、秋は小さな実りを鳥とともに追いかけ、紅葉のあでやかさに溜息をもらします。冬は、薪ストーブから

漂い出る木の香りと床暖房で暖められた室内、大きなガラス戸の向こうは真っ白な雪景色です：すっかり童心に返り、歳を忘れて暮らしています。 終の棲家が安曇野になるとは：：出会いの不思議さと運命に感謝です。このめぐり合わせが無ければ、今頃は神戸で過ごしていたことでしょう。 一時期、日本再発見(rediscover Japan)がブームとなりましたが、今再びこのブームが信州に、安曇野に訪れている気配を感じます。コロナ環境は安曇野の林間にも新たなライフスタイルを芽生えさせつつあります。私たちが県外からの初期転入世代とすれば、やがては二世三世に引き継がれ、遠距離勤務など若い世代の感性(well-being)は個々の特性を大切に生かし、スーパの冷めない距離に独自の生活を築く様が見受けられるようになりまし。果たして我が家では、東京で定年を控えた息子家族が如何に考えているか：： 温故知新「その道は未知なり」に委ね、今を大切に過ごしたく思います。



▲緑に囲まれ、季節の移ろいを楽しむ中垣さんご夫妻



### 6月12日 長野県建設業協会 安曇野支部 女性部会

産業廃棄物の処理方法についての勉強会が行われました。

道路の舗装工事前に剥ぎ取られるアスファルトや、解体されたコンクリート製品がどのように再生品として生まれ変わるのか、穂高牧の共和興業株式会社様のご協力により、工程を見学させていただきました。

現場より持ち込まれた廃アスファルトやコンクリートは、重機に取り付けられた破砕機で砕かれ、有筋コンクリートの鉄筋は破砕機先端の電磁石によって分け、ていねいに異物を取り除き、大きさが40mm以下と25mm以下に分別されます。道路や駐車場の路盤材として、40mm以下のものは下層に25mm以下は上層に再生材50%新材50%に混ぜて使われます。廃材の再生においても良質な資源の



▲コンクリートを砕き有筋を取り除く破砕機



▲砕石を作業用途別に分けるため、場内に張り巡らされている多数のベルトコンベア

再生材のほか生コンの材料となる砂利や洗い砂も生産されており、採掘された石を砕いて、すり潰し井戸水によって洗浄して製品にしているそうです。

使用した井戸水もタンクに集められ、土を沈殿させて圧縮し、埋め戻しなどに再利用され、井戸水も再び使用されるそうです。様々なところで、資源を無駄にすることなくリサイクルしていることに感心しました。

### 6月13日 「フリンアップ安曇野」 ボランティア作業

安曇野の観光スポットとも言える穂高わさび田周辺。美しい田園風景の維持とイメージアップを目指し、一級河川万水川の白金橋から万水橋間の除草作業を行いました。

安曇野建設事務所と建設業協会安曇野支部会員の約100名による共同作業で、今年で16回目となります。

1社だけでは不可能な作業でも、建設会社が協力することにより、より大きな成果を上げることができました。



▲万水川斜面の除草作業に汗を流す会員

### 6月21日・22日 7年ぶりの 京都研修旅行

6月21日・22日に協会の研修旅行で京都へ行ってまいりました。

平成30年に亡くなられた数寄屋建築の権威中村昌生先生に40年以上お世話になり、平成29年まで毎年行っていた研修旅行でしたが、今回は中村先生の意思を受け継ぐ吉江先生のお世話で、京都迎賓館、曼殊院小書院を初日の研修場所として見学してまいりました。中村先生も建築に携われた京都迎賓館は、京都御所の隣接地に建造され、国寶をもてなす現代和風の平屋建ての建物です。見た目の豪華さではなく「庭屋一如」の考えのもと建物と庭が一体化された佇まいに、落ち着きを感じました。仕上げ、装飾品等も京都の伝統を受け継ぐ職人達の技の結晶です。

曼殊院では小書院で吉江先生の講義をお聞きしました。残念ながら茶室を見ることができませんでしたが、市街地をはずれた静かな佇まいに穏やかな時間を過ごすことができました。

恒例の宴会では和気あいあいと多めのアルコールをいただき就寝。2日目は観光を主体にしていたので、まず下鴨神社で参拝、三井家下賀茂別邸、建仁寺を見学し、祇園で昼食をとった後お買い物。土曜日でもあり祇園界隈は大勢の観光客で賑わっていました。7時頃に無事帰社し充実した2日間を過ごすことができました。



▲[三井家下賀茂別邸]にて 会長の降幡を囲んで

水まわりって、大切だから  
**Takara standard**

# PREDECENCIA

プレデンスシア  
人生に、最上のくつろぎを。

craftsmanship  
人の手でしか作れないもの  
職人のプライドを込めて。

PREDECENCIAの铸物ホーロー浴槽は、熟練の職人たちが一つひとつ丁寧に作り上げる。一生ものにふさわしい、確かなクオリティを、それが私たちタカラスタンダードの「ものづくりの哲学」です。

### ダブルの温浴効果

浴槽自体が熱を蓄える铸物ホーローは、お湯だけでなく浴槽からもぬくもりが届きます。

入浴後のサーモグラフィ比較

心も体も癒されるワンランク上のバスタイムに

**肩包み湯**  
KATATSUTSUMIYU  
1日の疲れを癒やす  
至福のバスタイム

新発想のツインの水ながりが身体をしっかりと包み込む

水量は3つのモードから選べます

- お風呂モード 25L
- お風呂モード 21L
- お風呂モード 18L

高圧にわたるツインの水ながりが、身体を包み込み、全身しっかりとぬぐい取ります。肩甲骨や腰などへの水ながりも調整し、癒やし効果もアップ。ワンランク上のバスタイムをお楽しみください。

**タカラ** だけ!!

ぴったりサイズシステムバスには対応範囲がございます。

**ぴったリサイズ**  
システムバス

これはもはやオーダーメイド!

約**1,500**  
サイズバリエーション

サイズオーダーでお好みの大きさに自由自在!

ぴったりサイズシステムバスなら

もったいないゾーン

もったいないゾーン

2.5cm単位でサイズオーダーできるからぴったりサイズ

お家で体験ショールーム!

ショールームの雰囲気も動画で体感!

「ご来店前の下調べ」はもちろん、「ご来店後の内容の再確認」にもおすすめです!

**タカラ松本ショールーム**

〒399-0005  
長野県松本市野満木工2-6-25 駐車場完備

TEL 0263-25-8515

ご来店WEB予約はこちら ▶▶▶

空き家・空き地など 不動産の有効活用は山共まで  
お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

TEL.0263-77-3161 | kentiku@yamakyo-k.com

**住・貸・売**